

## 芸術文化調査官(生活文化担当)の仕事とは？

茶道、華道、書道や食文化等の生活文化や囲碁、将棋といった国民娯楽の振興・普及のために、その実態を把握し、課題を「見える化」する調査研究に携わるほか、生活文化等に関する講演やゲストスピーカーなども、依頼があればお引き受けしています。先日は、小学生の前で「伝統文化の置かれている現状」について話す機会がありました。老若男女問わず、多くの人に生活文化や国民娯楽に興味・関心を持ってもらえるような仕事ができればと思います。



よしの けんじ  
吉野 亨

文化庁芸術文化調査官(生活文化担当)。東京都出身。國學院大學にて神道学を専攻、祭りの食を研究、大学院にて博士号(神道学)を取得。八潮市立資料館にて公文書保存専門員として2年間勤務の後、平成29年4月より現職(生活文化と国民娯楽を担当)



御所南小学校では、6年生160名を前に講演。自分たちが伝統文化を伝え残していかななくてはならないという子供たちの使命感に感銘を受けました。

## 京都に移転する文化庁への思い

生活文化担当の調査官は、地域文化創生本部の誕生にあたって新設されました。こちらでは東京と比べて、茶道や華道などの生活文化を身近に体験できる上に、その担い手の方に直接お話しを

聞くという貴重な機会も多くあります。地域の皆さんが昔から続いている独自の文化を大事にされている町・京都で生活文化等を担当する調査官として仕事ができることは大変光栄です。

# 京都で輝く"新・文化庁" 文化庁地域文化 創生本部だより



Vol. 1

文化庁には、東京・京都をあわせて約250名の職員が働いていて、うち約50名が文化財や著作権、国語等の専門分野を調査、研究している「調査官」です。今回は、その中でも地域文化創生本部の設立と同時に誕生した生活文化担当の調査官、吉野亨さんにお話を伺いました。



文化庁広報誌「ぶんちゃん」  
キャラクター「ぶんちゃん」

## 令和元年度「全国高校生伝統文化フェスティバル」 伝統芸能選抜公演のご案内

令和元年12月15日(日)、京都コンサートホールで開催します。  
今回の大会テーマは、「大切にしたい日本のこころ」。詳細プログラムおよび一般観覧者募集はWEBサイトをチェック!(10月中旬公開予定)

## 文化庁地域文化創生本部

TEL:075-330-6720(代表)  
<http://www.bunka.go.jp/>

文化庁 伝フェス 🔍 検索